

# 年末年始の今昔

## 山下上 山腰進

昔、子供の頃は、特に正月を迎えるのが待ち遠しく楽しみでした。親戚が集まり、お年玉がもらえたからかもしれません。それだけの家庭での習わしや過ごし方があると思います。今回、一之宮というより、我が家の昔を思い出して描いてみます。

先ず年末は、大掃除が待っていました。ガラス拭き、蜘蛛の巣取り、まきストーブがあった時は、まき割り、すす払いなど手伝わされました。正月に向けては松飾や餅つき、お餅や花餅づくり、お稲荷様への供え物など、一年の締めくくりと新年を迎えるにあたっての準備がありました。

女衆には、さらに漬物づけ、正月料理作りもあり、大みそかまでに疲れてしまうほどでした。漬物の野菜洗いは、地域に清水が湧き出ているところがあり、そこに集まって水洗いをしていたようです。寒い中での作業、昔の人は辛抱強くよくやりました。



昔が良き時代だったのか、年をとったからなのか、最近では少しさびしく年越しをしているところがあります。今年は、久しぶりにゆつたりと年始を過ごしてみたいと思っています。みなさまにとって今年がよい年でありますようにお祈り申し上げます。

まで25回のすべてにわたり審査員を務められた) 林進先生(平成3年の台風19号で倒れた臥龍桜の復活に携われ、その尽力により見事桜がよみがえった) 入場料: 無料 内容: 講演会と対談の2部構成

### 消防出初式のご案内

高山市消防団一之宮支団の消防出初式が次のように行われます。町民のみなさまも様子をぜひご覧いただけますようお願いいたします。 日時: 1月5日(月) 午前7時30分 サイレン吹鳴 午前8時00分~訓練 午前10時00分~出初式 場所: 宮中学校グラウンド

### 女川町募金ありがとうございました

昨年11月に実施した東日本大震災・女川町義援金募金には町民のみなさまにご協力をいただきありがとうございました。お陰様で下記の金額が集まりましたのでご報告します。 集金額=294,500円 なお、この金額にまち協からの寄付金を加え、3月20日の「女川町復興応援ツアー」で届けさせていただきます。引き続き一之宮公民館で女川町復興応援募金を行っていますので、暖かいご支援をよろしくお願いいたします。

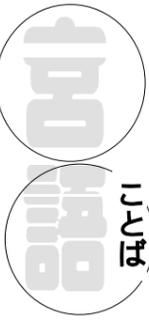
**編集後記:**「地方創生」という選挙スローガンがありましたが、国からのおこぼれでは、真の創生はできないのではないかと思います。結局は自助努力が求められるのでしょう。その意味では「まちづくり協議会」は自助の鏡?ではないかと感じ入っています。今年もよろしくお祈りいたします。

### 女川町復興応援ツアー参加者募集!

まち協では設立記念事業として臥龍桜の苗木が宮城県女川町のJR女川駅前の桜並木に植樹され、JR女川駅舎完成式典が3月21日に開催されるのに合わせて、「女川町復興応援ツアー」を実施します。 交通費はまち協が負担し参加者の負担を軽減します。この機会にぜひ被災地を訪れ、復興応援に参加していただければ幸いです。 日時: 3月20日(金)~22日(日)2泊3日(1日目は車中泊) 行先: 宮城県女川町 料金: 25,000円 定員: 30人(定員に達し次第締切) 申込先: 一之宮公民館まで直接または電話で(53-2424) 申込締切: 2月10日(火) 20日は車中泊、2日目は「女川温泉ホテル華夕美」泊。観光として金華山黄金山神社、鶴ヶ城などを予定しています。 宮中生徒4名も女川中との交流派遣として同行予定です。

### まち協講演会「臥龍桜を語る」(仮称)のご案内

まち協では設立記念事業として記念講演会を企画しました。一之宮町の宝ともいえる「臥龍桜」に縁の深い2人の先生をお招きして実施します。ぜひ町民のみなさまの参加をお願いします。 日時: 1月25日(日)午後1時30分 会場: 飛騨位山文化交流館 講師: 伊藤嘉晃先生(臥龍桜日本画大賞の創設から関わり、これ



## ひだるい けなるい

明けましておめでとございます。清々しい朝、みなさまには元旦未年を迎えられたこととお慶びを申し上げます。 ところで、夜更かしをしたのに、子どもたちは目覚めもよく、みんなえびす顔!何かう

れしいことでもあるのかな? そうや、お年玉を待っているのです。 その時、突然長男が、「あー、ひだるい! 腹へった、母ちゃん、まんままだか、はよう何かくれー」、「今朝は雑煮やで、餅焼き手伝わんと早よう食えれん」と母ちゃん。 正月は七輪に炭を起こし、網デッキをのせ餅を焼きます。焦がさんように子どもたちは餅とにらめっこ。ようやく雑煮を腹いっぱい食べ、ひだるさもおさまりました。 次は待ちに待ったお年玉。まず長男から、

じいちゃん、父ちゃんの前へ行ってお年玉袋をもらいました。次男、長女ももらい、中味を見ています。 「わー、兄ちゃんぎょうさん入ってる、けなるいなあ!」と弟。兄ちゃんは弟たちに言いました。「そんなにけるけりや、おめえたちがおりよりはよ生まれりやいかったんやにけ!」 「ひだるい」と「けなるい」。どちらも体があるいは心の満たされない状態を意味していますが、今年も希望をもって満たされる年になるよう頑張りたいものです。

## 一之宮が交通遮断、停電、電話不通で一時孤立

休校となりました。19日午後からは先生が手分けして全校児童生徒の家を安否状況等確認の家庭訪問。保育園でも、急きょ自分の住む保育園に急的に勤務するなどの臨時体制で対応しました。

支所は避難所となり、18日には12人が避難、その後支所自体が停電のため久々野支所で1泊しました。社会福祉協議会では支所と相談して停電家庭など一部の要援護者宅を訪問、また民生児童委員も高齢者宅などを訪問して情報収集・支援に努めました。

反射式ストーブ、湯たんぼ、携帯ガス、懐中電灯などで停電をしのいだ家が多く、携帯電話も充電切れで使えず、また、出かけたものの途中で身動きできなくなったという話も聞かれました。道路情報や電気の復旧情報が届かず、イライラしたり不安な時間を過ごした人が多く、情報伝達の方法など今後に多くの課題を残した今回の雪害でした。

12月17日から18日にかけて降った大雪により、一之宮町では停電、幹線道路通行止め、JR高山線不通、それに電話も使えないという、かつて経験したことのない事態に見舞われました。

国道41号線は18日未明から、倒木など相次ぐ道路障害でストップし、東海北陸自動車道の通行止めが流れてきた大型トラックの列ができていました。

今回の大量の重い雪により山下にある市天然記念物の夫婦松の雄松が裂けたほか、臥龍桜にもひびが入りました。

大雪で最大の被害となったのは停電による生活への影響です。

苅安峠からの県道は倒木が連なるように道をふさぎ、電線を切断していました。

17日夜からは日影、南地区等で停電、翌18日は全世帯に及んで、19日朝まで続きました(一部では24日まで停電)。

小中学校は17日の午前で授業を取りやめて集団下校し、18、19日と臨時



倒木が相次いで電線を直撃(苅安)



幹が裂けた夫婦松の雄松(右)

## 図書館だより

今年も一之宮分館をよろしくお祈りします。たくさんのご利用をお待ちしております。

**今月の特集「暖かくすすまは?」** 冬本番!少しでも暖かく快適に過ごすためのヒントを紹介します。 温かい料理のレシピや冷え性対策などの資料を集めました。

### お知らせ

蔵書点検および図書館システム更新のため、市図書館「煥章館」及び各分館は以下の日程にて長期休館します。 休館期間: 平成27年2月17日(火)~3月2日(月)

図書館システムの更新に伴い、休館期間中は図書館ホームページも全て休止いたします。ホームページからの蔵書検索、予約、延長等はできません。

**おはなし会のご案内** 1月17日(土)午前10時30分、スタッフによる絵本の読み聞かせ

### 一之宮町の人口情勢

世帯数		819戸	
年齢	男性	女性	合計
0~14歳	202	166	368
15~64歳	731	742	1,473
65歳以上	321	457	778
合計	1,254	1,365	2,619

12月1日現在・単位:人

日	曜	行事内容
25	日	新成人を祝つつとい(公民館)
20	火	まち協記念講演会(交流館)
11	日	町内会長会(支所)
10	土	どんど焼き(水無神社)
8	木	サタデイサークル(交流館)
7	水	心配ごと・結婚相談(交流館)
5	月	行政相談(交流館)
2	金	消防出初式(宮中グ)

### 公民館から

#### 展示コーナー

正月飾り(1月中旬まで) 1月の公民館定休日 1~3日(土) 13日(火) 26日(月) 1月の位山交流館定休日 1~3日(土) 5日(月) 13日(火) 19日(月) 26日(月)

### つばやき

昨年の飛騨はどつとしたことか?夏の台風が始まり、マイマイ蛾の影響もあってか熊の多数出没、十月の大雪...、それによる停電、自然の怖さを肌で感じた事により、日常生活が平穏に送れる事のありがたみに感謝できた1年。今年は何んな1年になるのか?無事新しい年が送れますように(ポストマン)

# 手づくりのお鏡餅で迎春を



お鏡餅をつくってお正月を迎えようと、12月27日に一之宮公民館で「年末お鏡餅づくりとちよっぴりお餅でDeランチ会」と題した

つくったばかりのお鏡餅を手に取って笑顔を見せる参加者のみなさん

行事が行われました。まち協健康福祉部福祉委員会が開催したもので、子ども10人ほどと福祉委員会のメンバーや長寿会の協力者ら15人が参加しました。用意した6升の餅を4回に分けて機械でつき、それぞれ、つき上がったばかりの餅をきれいに拭いたブルーシートの上のせて作業開始。指導者の長寿会の会員らに教えてもらいながら餅とり粉でくつかないよう丸めていきました。

この後参加者は正月にお供えする鏡餅として持ち帰りました。最近各家で餅をつく習慣も薄れ、お鏡餅もパックの既製品を飾る家が増える中、こうした手づくりお鏡餅で正月を迎えるのはまた格別でしょう。

この日は、余った餅を雑煮やきな粉餅にして昼食をとり、年末のひと時を楽しみました。



出来立てのお鏡餅

# 一之宮まち協だより

第8号  
平成27年1月1日  
一之宮町  
まちづくり協議会  
広報委員会  
高山市一之宮町3087  
電話 53-2424

## 宮景

### 人工降雪

スを移動したり、大型機械を動かしたり。そんな屈強な男たちは、まさにモンデウスの縁の下の力持ち。今シーズンもみんなでモンデウスへ遊びに行こう！（広報委員：野添一幸 写真も）



真夜中にもこうして雪が作られています(2月15日未明に撮影)

モンデウス飛騨位山スノーパークでは、スノーマシンによる雪づくりが行われています。スノーマシンとは、大型の送風機に付いているノズルから水を噴霧し、氷点下の大気中で凍らせて人口雪をつくる機械のことです。今年12月のうちに記録的な大雪となり、停電の影響や通行止めでスキー場のオープンが遅れましたが、平時は、地球温暖化や暖冬といわれている昨今、スキー場にとって雪づくりは欠かせない作業になっています。雪づくりを行う降雪スタッフは、お客さんが楽しく安全に滑るためにゲレンデ全体の整備をしています。吹雪の日や氷点下の朝や夜、長くて重い送水ホー

# ニュースのひろは



ギター伴奏に合わせて歌う参加者

**後期生涯学習講座開講 昭和歌謡で当時懐かしむ**  
まち協文教委員会主催の生涯学習後期講座が実施されました。開講したのは「そばづくり教室」と「昭和歌謡を歌おう」の二つ。このうち「そばづくり教室」は11月23日に一之宮公民館で、三宅幸恵さんを講師に行われ、4家族が参加しました。「昭和歌謡を歌おう」は、昭和時代にはやっていた懐かしい名曲を、みんなで一緒に歌って当時を懐かしみ、楽しいひと時を過ごすという企画されたものです。講師は寺内タケシとブルジョアズのパンドで活動し、その後ギターリストとして歌手のバックを担当していた下呂市金山町在住の中島ヨシハル氏。12月1日と15日に一之宮公民館で開催された講座には延べ28人が参加し、「高校3年生」や「寒い朝」など、昭和の名曲20曲余りを中島さんのギター伴奏に合わせて歌いました。

講師の中島さんからは、曲にまつわるエピソードや曲のはやっつた



紙芝居を楽しむ子どもたち

高山市図書館主催の「おはなし会スペシャル」が12月6日、一之宮公民館で開催されました。これは、毎月第3土曜日に一之宮分館で行っている「おはなし会」のスペシャル版で、地元のボランティアの協力のもと、毎年この時期に「クリスマス」をテーマに行われています。

絵本、紙芝居のあと人形劇が披露され、人形の可愛い動きに、子どもたちの目は釘づけ。サンタクロースの登場に歓声が沸きました。簡単な工作の後、帰りにはサンタと握手。約60人の親子が、少し

**「おはなし会スペシャル」紙芝居や人形劇楽しむ**  
時代の話も出て、参加者は歌を楽しむと同時に歌うことでよみがえる若かった時代のノスタルジーに浸っているようでした。カラオケやコーラスと違い、歌の上手下手にかかわらず、歌が好きというだけでみんなと楽しいひと時を過ごせるのが魅力のこの講座は、この後1月と2月に各1回開かれます。



出来たばかりのピザを食べる子ども達

**女性委員会がピザ焼き 本格的窯で出来立て賞味**  
まち協女性委員会では12月14日、民宿水野荘で本格的なピザ窯を使ったピザ焼き体験を行いました。出席したのは子ども14人を含む44人。講師の水野美代子さんの指導で、生地を延ばし、ソースを塗った後、工夫を凝らしてトッピングして力作ができたが、焼きあがるのを待ちました。この日は雪が降り積もり、窯のふたを開けるたびに中の温度が下がり、焼き上げるまでのタイミングが心配されましたが、美味しく焼き上がり、出来立てをお土産に帰る人もありました。

焼く前と後でピザの様子が変わってしまっ、自分の作ったピザが行方不明になるなどトラブルもありましたが、楽しいひと時を過ごしました。



サンタからプレゼントをもらい大喜び

**宮小でがりゅう発表会 「一之宮の良さを発見」**  
宮小学校では12月6日、「がりゅう発表会」で生活科や総合学習で学んだ成果を発表しました。この日は学級懇談会もあり、保護者や地域の方で教室はいっぱい。児童は大きな声で、調べたことを自信を持って発表していました。各学年とも一之宮の探検や町自慢、福祉、自然などについて、感じ、発見したことを発表し、一之

ンタクローズが一之宮の子どもたちへプレゼントを渡しました。高山市社会福祉協議会一之宮支部がサンタクローズに依頼して「一之宮サンタクローズ隊」を結成して毎年行っている行事で、今年16戸30人にプレゼントを配りました。

3人のサンタクローズが手分けして訪問し、「メリークリスマス」などと言って子どもに直接プレゼントを渡すと、子どもは「ありがとう」と言いながら満面の笑みで受け取っていました。



消火器の期限等を確認しました

**公民館をボランティアが清掃**  
まち協文教委員会の会員による公民館清掃ボランティアが12月7日に行われ、28人がガラス拭きなどの奉仕作業をしました。

**火の元点検各戸で実施**  
火の元点検が町内各地で12月7日に実施され、本格的な冬前に火災への備えを確認しました。この日は消防団員や各班の女性防火クラブ員が各戸を回り、消火器の点検や確認表で火の元の点検を行いました。



親やみんなの前で学んだことを披露

宮町のよさを見つけ、将来に向けて守っていくという意気込みを感じさせる発表会でした。